

Background Art Information

Japanese Utility Model Publication No. 49-713

Publication Date : January 9, 1974

Laid-open No. : Not Available

Laid-open Date : Not Available

Inventor : KOMINE Shigeru

Title of Invention : An apparatus preventing slug from elevating

Abstract : An apparatus preventing slug from elevating includes dies 1 which is formed with a cylinder hole 2 wherein the inner peripheral face of the cylinder hole 2 is covered with urethane or rubber coatings as shown Fig. 1.

⑤ Int. Cl.

⑥ 日本分類

⑦ 日本国特許庁

⑧ 実用新案出願公告

B 26 f 1/14

74 C 1

昭49-713

## 実用新案公報

⑨ 公告 昭和49年(1974)1月9日

(全2頁)

1

### ⑩ プレスのカス上り防止装置

⑪ 実 願 昭45-42109

⑫ 出 願 昭45(1970)5月1日

⑬ 考 案 者 小峰茂

東京都大田区東嶺町46の8

⑭ 出 願 人 伸栄工業株式会社

東京都大田区蒲田4の45の9

⑮ 代 理 人 弁理士 成島光雄

### 図面の簡単な説明

図面は本考案の一実施例を示し、第1図は、本考案の部分的拡大断面図、第2図及び第3図は従来例を示す。

### 考案の詳細な説明

本考案はプレスのカス上り防止装置に関する。

プレスによる型打ち抜きは、ダイスの凹部とパンチの凸部との間隙が小さい程正確にできるが、この間隙が小さければ小さい程ダイス凹部に嵌合したパンチを抜く際該凹部内は低圧になり、パンチがぬける際該凹部に入っている打抜きカスはダイス外に飛び出し、ダイスの開口部に引掛かることがある。このため次にパンチを打ち下す際、次の被加工品と重なり該カスが邪魔になり作業が非能率的になると共に成品の精度にも影響を与えるものであつた。

このため従来は第2図に示す如く、パンチの下部に棒状突起を取り付けて凹部内に溜つたカスを下えつき落としてからパンチを引き上げるか、又は第3図に示す如くダイスの上面より凹部側壁に細孔を穿設し、パンチを引き上げる際、該細孔より空気を流入せしめて凹部内が低圧状態になることを防止していた。

しかし、小さい型を打ち抜く際にはパンチの下部

2

に突起を取り付けることは困難であり、また、ダイスの凹部側壁に細孔を穿設するには費用が掛る等具合の悪いものであつた。

そこで本考案は上記欠陥を解決するもので、ダイスの凹部内周面に高分子合成樹脂等の被膜を設けて該凹部が低圧状態になつてもカスは該被膜によつてダイス外に飛び出すことを防止し、打ち抜き作業が連続して高効率にできる。

プレスのカス上り防止装置を得ることを目的とするものである。

次に本考案の一実施例を図面に従つて説明すると、ダイス1の凹部2内周面にウレタン、等の高分子合成樹脂又はゴムを塗布又は接着して薄被膜3を形成する。そしてダイス1上に被加工品を載せ、パンチ4を打ち下ろす。パンチ4によつて打ち抜かれたカスは薄被膜3に引掛かり、パンチ4が上昇して低圧になつても凹部2より飛び出すことなくダイス1の凹部2内に順次溜るものである。このためカスがダイス1の開口部に引掛かることもなく、連続してパンチを作動せしめて型を打ち抜くことができる。

また、凹部2周面に接着した薄被膜3はパンチ4の連続作動により押圧され徐々に薄被膜3が離剥するが、高分子合成樹脂は簡単に塗布することができるのでその都度該合成樹脂を塗布し薄被膜3の作用を持続せしめることができる。

このように本考案は薄被膜3を塗布することによつてダイス1の凹部からのカス上りを防止し、且つパンチ4を連続して作動することができ、また従来のカス上り防止に比較して低廉且つ容易に提供することができる等の実用的効果を有するものである。

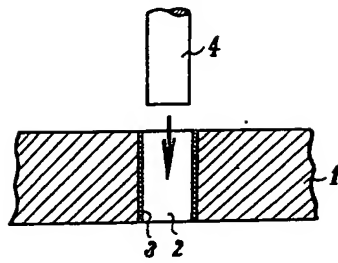
### ⑯ 実用新案登録請求の範囲

ダイス1の凹部2内周面にウレタン又はゴムの薄被膜3を設けたプレスのカス上り防止装置。

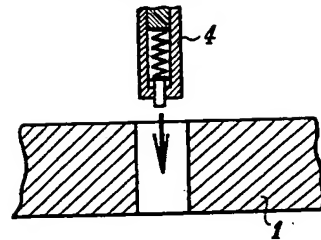
(2)

実公 昭49-713

第1回



第2回



第3回

